



## 2021年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月3日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285  
 四半期報告書提出予定日 2021年3月17日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年10月期第1四半期の連結業績（2020年11月1日～2021年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第1四半期	4,353	6.5	512	71.6	562	70.4	424	109.2
2020年10月期第1四半期	4,088	△7.2	298	△34.1	330	△28.4	203	△32.9

(注) 包括利益 2021年10月期第1四半期 491百万円 (167.0%) 2020年10月期第1四半期 184百万円 (△39.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第1四半期	56.33	—
2020年10月期第1四半期	26.92	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第1四半期	24,765	19,372	78.2
2020年10月期	24,651	19,047	77.3

(参考) 自己資本 2021年10月期第1四半期 19,372百万円 2020年10月期 19,047百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	18.00	—	22.00	40.00
2021年10月期	—	—	—	—	—
2021年10月期（予想）	—	20.00	—	24.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年10月期の連結業績予想（2020年11月1日～2021年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,500	5.1	880	42.7	940	52.9	650	59.7	86.17
通期	17,400	7.1	1,600	11.0	1,640	9.3	1,100	7.0	145.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年3月3日）公表いたしました「2021年10月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年10月期1Q	8,144,400株	2020年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	2021年10月期1Q	600,992株	2020年10月期	600,923株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年10月期1Q	7,543,447株	2020年10月期1Q	7,543,477株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年11月1日～2021年1月31日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」という。)の影響で引き続き不透明な状況であるものの、各国が感染拡大の防止策を講じる中、各種政策の効果等により一部の地域で持ち直しの動きが見られました。

わが国経済も、感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの、政府や地方自治体による経済対策の効果もあり、経済活動の一部に持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、感染症の再拡大により不透明感が強まりました。

このような状況のもと、当社グループは絶えず独創的、革新的な研究と技術力の向上に努め、付加価値の高い製品の開発を行うとともに、お客様の満足度を第一とし、品質と機能において常に優れた製品、サービス、情報を提供することに努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,353百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益512百万円(前年同期比71.6%増)、経常利益562百万円(前年同期比70.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益424百万円(前年同期比109.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①塗料事業

金属用塗料分野では、中国向けは堅調であったものの、日本国内向けはコロナ禍の生産調整の影響を受けて低調な推移であったことで、売上高は前年同期に比べ僅かながら減少いたしました。建材用塗料分野では、主力ユーザーの高耐久商材への採用が増えたことや内装建材向けにおいて抗ウイルス塗料が採用されたことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。セグメント利益は、建材用塗料分野での売上高の増加に加え、生産性の向上や諸経費の圧縮等のコストダウンにより前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、塗料事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,605百万円(前年同期比3.0%増)、セグメント利益は330百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

## ②ファインケミカル事業

世界的なテレワーク拡大で、PC及びモバイル製品向けのコーティング剤の需要が旺盛であったことにより、売上高、セグメント利益は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

この結果、ファインケミカル事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は816百万円(前年同期比37.1%増)、セグメント利益は248百万円(前年同期比133.9%増)となりました。

## ③シンナー事業

既存ユーザーのコロナ禍の生産調整により出荷量が落ち込んだことで、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。セグメント利益は、売上構成の見直しや前第1四半期連結累計期間において台風19号の浸水被害により工場が1ヶ月半生産停止となった有限会社アイシー産業の回復により前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、シンナー事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は931百万円(前年同期比3.4%減)、セグメント利益は78百万円(前年同期比51.1%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は17,585百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が340百万円、商品及び製品が32百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が159百万円、電子記録債権が161百万円、原材料及び貯蔵品が139百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が46百万円、無形固定資産が13百万円増加したものの、繰延税金資産が49百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は24,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ114百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ228百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が218百万円増加したものの、未払法人税等が137百万円、賞与引当金が133百万円、その他流動負債が190百万円減少したことによるものであります。固定負債は742百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が12百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,392百万円となり、前連結会計年度末に比べ211百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は19,372百万円となり、前連結会計年度末に比べ325百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を424百万円計上した一方で、配当金の支払165百万円があったことと、為替換算調整勘定が62百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.2%（前連結会計年度末は77.3%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年3月3日）公表いたしました「2021年10月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、通期の業績予想については、2020年12月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,633,092	7,292,633
受取手形及び売掛金	5,324,337	5,484,021
電子記録債権	421,745	582,812
有価証券	1,200,000	1,200,000
商品及び製品	1,033,147	1,001,060
仕掛品	28,195	33,033
原材料及び貯蔵品	518,973	658,819
前渡金	468,093	468,721
その他	878,052	869,440
貸倒引当金	△5,327	△5,388
流動資産合計	17,500,312	17,585,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,651,947	2,635,113
機械装置及び運搬具(純額)	1,034,141	1,020,876
土地	1,743,380	1,743,380
その他(純額)	917,984	994,972
有形固定資産合計	6,347,453	6,394,342
無形固定資産	167,066	180,431
投資その他の資産		
投資有価証券	412,037	417,199
繰延税金資産	77,819	27,925
その他	153,923	167,757
貸倒引当金	△7,368	△7,368
投資その他の資産合計	636,412	605,513
固定資産合計	7,150,932	7,180,288
資産合計	24,651,244	24,765,441
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,714,454	2,932,689
電子記録債務	28,273	69,378
未払法人税等	207,821	69,902
賞与引当金	256,501	123,236
役員賞与引当金	33,900	8,475
その他	1,637,664	1,446,750
流動負債合計	4,878,614	4,650,432
固定負債		
繰延税金負債	6,193	18,236
役員退職慰労引当金	343,824	349,529
退職給付に係る負債	153,738	151,386
その他	221,749	223,304
固定負債合計	725,505	742,457
負債合計	5,604,120	5,392,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	14,094,722	14,353,682
自己株式	△516,255	△516,339
株主資本合計	18,521,344	18,780,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148,549	151,122
為替換算調整勘定	397,539	460,470
退職給付に係る調整累計額	△20,309	△19,263
その他の包括利益累計額合計	525,780	592,329
非支配株主持分	—	—
純資産合計	19,047,124	19,372,551
負債純資産合計	24,651,244	24,765,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
売上高	4,088,834	4,353,804
売上原価	3,080,995	3,123,629
売上総利益	1,007,838	1,230,175
販売費及び一般管理費	709,113	717,534
営業利益	298,725	512,640
営業外収益		
受取利息	1,388	988
受取配当金	6,339	5,544
貸倒引当金戻入額	402	—
為替差益	16,772	37,825
物品売却益	3,501	5,562
その他	6,228	3,013
営業外収益合計	34,632	52,935
営業外費用		
支払利息	3	0
売上割引	2,973	2,661
その他	9	84
営業外費用合計	2,986	2,746
経常利益	330,370	562,828
特別利益		
固定資産売却益	—	1,799
補助金収入	—	11,841
受取保険金	440	—
特別利益合計	440	13,640
特別損失		
固定資産処分損	4,657	1,607
固定資産圧縮損	—	7,004
災害による損失	10,496	—
特別損失合計	15,153	8,612
税金等調整前四半期純利益	315,656	567,857
法人税、住民税及び事業税	47,062	83,482
法人税等調整額	65,492	59,457
法人税等合計	112,554	142,940
四半期純利益	203,102	424,917
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	203,102	424,917

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	203,102	424,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,205	2,572
為替換算調整勘定	5,626	62,930
退職給付に係る調整額	564	1,045
その他の包括利益合計	△19,015	66,549
四半期包括利益	184,086	491,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,086	491,466
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法については、従来、主に定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、当社における群馬粉体塗料生産工場の増設等を契機に、有形固定資産の使用状況を検証した結果、生産高、稼働率等が今後も長期安定的に推移することが見込まれることから、定額法により耐用年数の期間にわたって均等に費用配分することが、有形固定資産の使用実態をより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16,185千円増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年11月1日至2020年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,528,884	595,271	964,677	4,088,834	—	4,088,834
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,835	—	68,339	71,174	△71,174	—
計	2,531,720	595,271	1,033,016	4,160,008	△71,174	4,088,834
セグメント利益	288,776	106,246	51,980	447,003	△148,277	298,725

(注) 1. セグメント利益の調整額△148,277千円は、セグメント間取引消去5,880千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△154,157千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年11月1日至2021年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,605,607	816,199	931,997	4,353,804	—	4,353,804
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,941	—	54,748	58,690	△58,690	—
計	2,609,549	816,199	986,746	4,412,494	△58,690	4,353,804
セグメント利益	330,574	248,536	78,567	657,678	△145,038	512,640

(注) 1. セグメント利益の調整額△145,038千円は、セグメント間取引消去6,457千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△151,496千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法を変更しております。この変更により、従来の方法による場合と比較し、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、塗料事業で9,798千円、ファインケミカル事業で1,625千円、シンナー事業で3,731千円増加しております。また、各報告セグメントに配分していない全社費用が1,030千円減少しております。